

メリットよりデメリットが大きい 社会保障・税に関わる番号制度

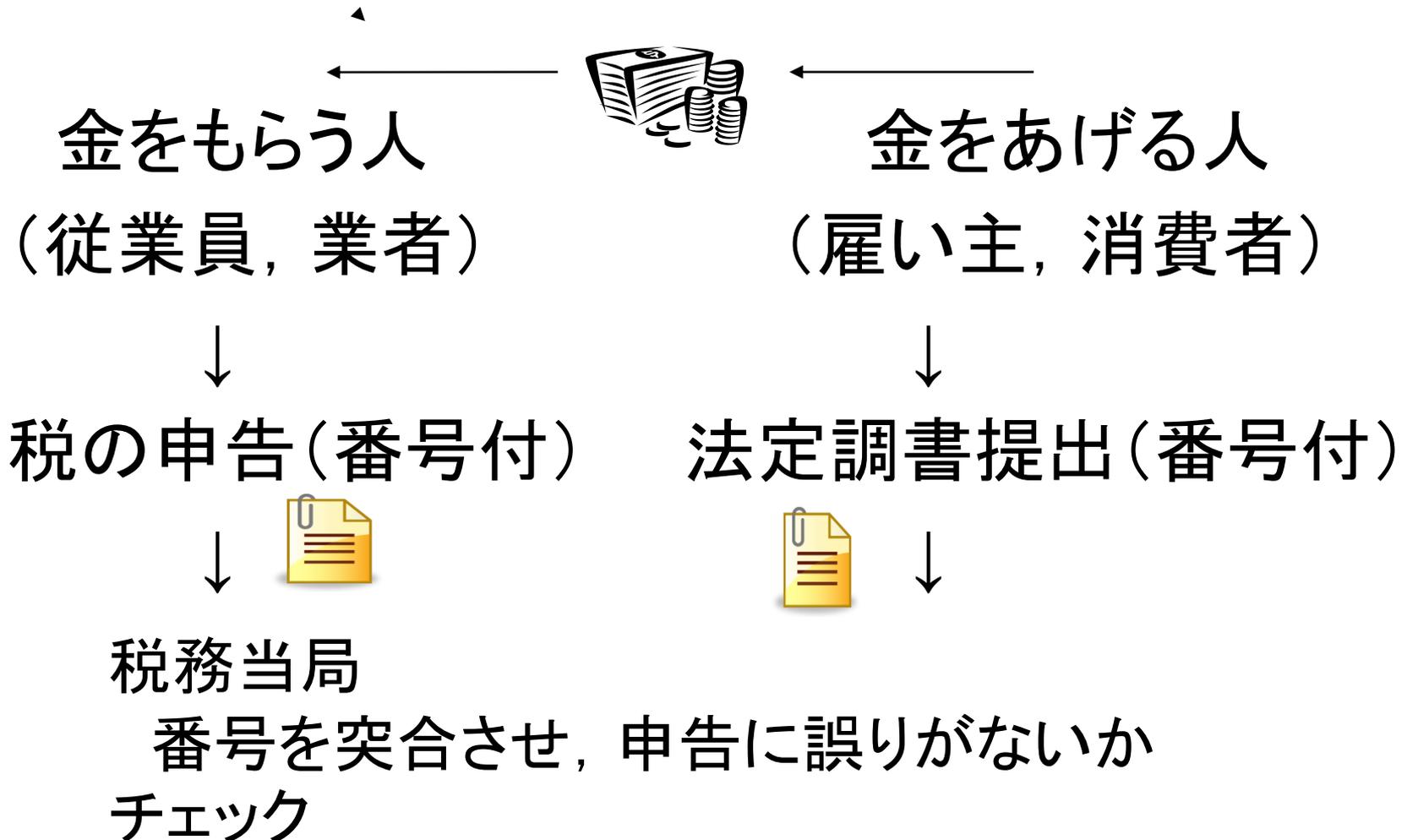


弁護士 齋藤 裕

(新潟合同法律事務所)

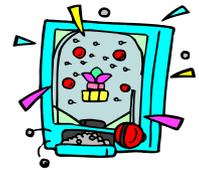
制度を導入するメリット 1

所得把握が一番の目的。所得把握は可能？



制度を導入するメリット 2

調査で不正が発見される率が高い業種はバー・スナック, パチンコ(国税庁発表)



○客が, いつ, いくら支払ったかを税務当局に申告する制度でないと所得把握は難しい。

○国において, 個人消費者が, いつ, いくら, 何に使ったか把握する社会は住みよい社会か? そもそもそんなことが可能か?

制度を導入するメリット 3

○現在でも、雇い主は、源泉徴収票の提出義務がある。サラリーマンの所得把握には威力を発揮する。

○妻の入院費のため、退社後、アルバイトをしていたサラリーマンについて、番号制では、確実に給料を合算して税金を取ることができる。



その程度のメリットのために番号制度を導入する？

制度を導入するメリット 4

- ・行政事務が効率化する？



- ・制度の開始, 運営のために, 官民(医療機関, 介護施設, 薬局)でいくらかかるのか不明。効率化のメリットが事務効率化のメリット上回るか不明

※パスポート電子申請システム

パスポート一冊発行に1600万円

二の舞にならないか？

制度を導入するメリット 5

市民が行政手続きをするときに便利（住民票などをとらなくてもよくなる）？



それは番号がないとできないのか？

熊本シンポでの元熊本市職員の発言

制度を導入するデメリット 1

- プライバシー侵害の危険

公務員が、情報連携基盤を通じて、職務にとって不必要な個人情報(病気, 収入etc)を収集することはないのか？



例 防衛庁情報公開請求者リスト事件
社会保険庁年金記録のぞき見事件
新潟県警Nシステム目的外利用事件等

制度を導入するデメリット 2

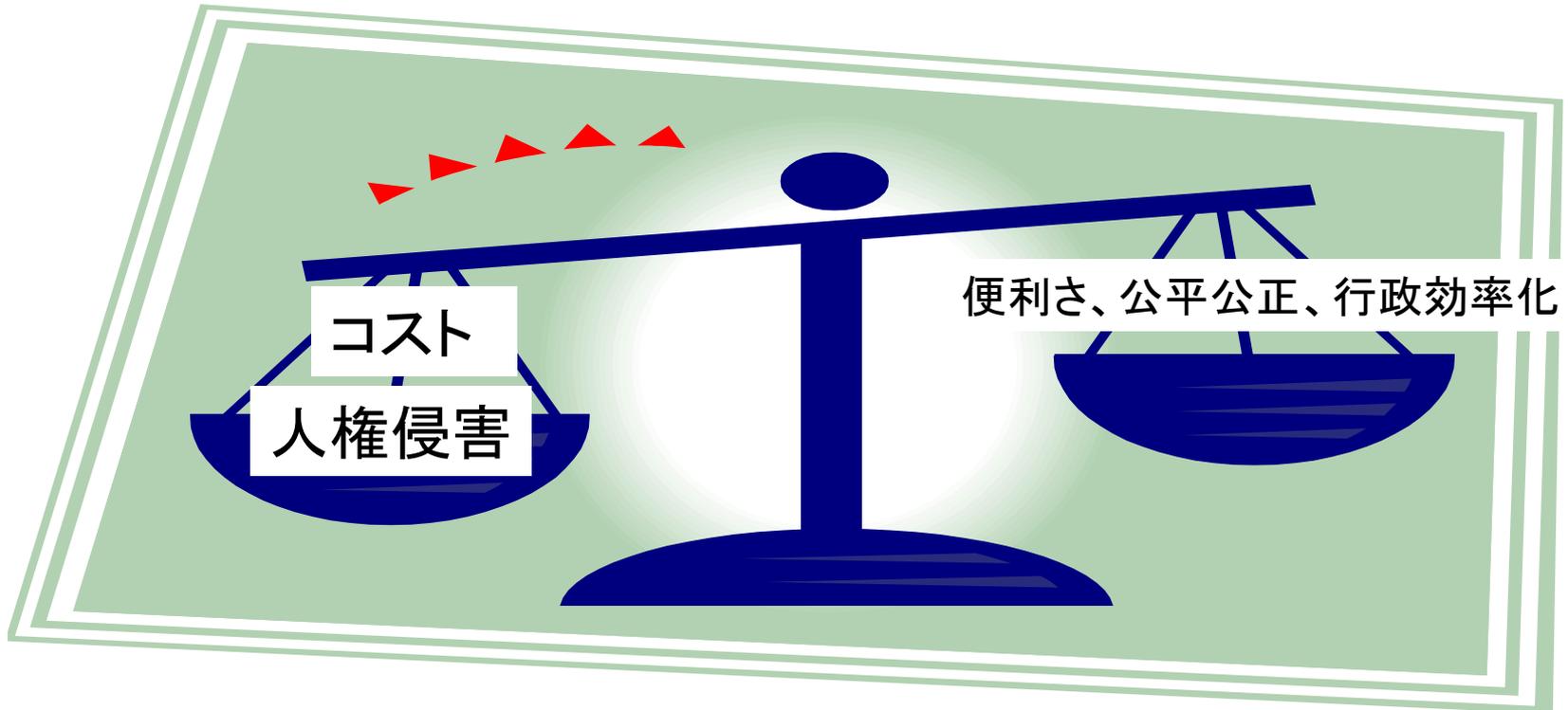
第三者機関があるからいい？

○現実にある第三者機関(委員会)は、少なくとも行政に対しては無力ではないか？(公安委員会等)

○税金にかかわる犯則(脱税)調査

もっとも人権侵害の危険が高い場面でチェックが働かない

まとめ



著しくバランスを欠いている可能性があり、
現状では賛成しかねる